



## もうすぐ卒業！

3月17日（火）の卒業式に向けて、6年生の各クラスでカウントダウンが始まっています。いよいよ卒業…学校に登校する日も、あと12日ぐらいとなりました。

どんなときも①目標をもち②仲間と協力し合い③最後まで粘り強くやりぬく力を大切に進んでいってほしいと考えています。子どもたちのミニ作文を紹介します。

### 「1～5年生への想い」 6年

ぼくたちは残りあと少しでこの波多江小を卒業します。ぼくたちが卒業した後の4月には、皆新学年になっていると思います。また、新一年生はきんちょうしていると思うので、皆さんが手を差しのべてほしいと思います。今の一年生は来年から二年生、二年生は三年生、三年生は四年生、四年生は五年生、五年生は六年生へと成長してほしいと思います。特に六年生は、最上級生としてがんばってほしいです。大変なこともたくさんあるけど、とても楽しい一年になります。東中から応援しています。

### 「努力は報われる」 6年

ぼくは、小学校生活の中でサッカーを頑張ってきました。また、苦手な勉強も努力してきました。そのおかげで、少しずつ結果がついてきました。みんなも好きなことばかりではなく、苦手なことも頑張してほしいです。卒業まであと少し、最後までがんばりたいと思います。

### 6年

ぼくができるようになったことは、発表、反応をしっかりする事です。発表することで、学習の理解が深まりました。しかし、テスト前などに自主学習ができませんでした。なので、中学に向けて頑張りたいことは、テスト前などに予習をすることです。中学でも頑張ります。

### 「中学校までに」 6年

ぼくの小学校生活はもう少ししかありません。だから、残りの時間で友達とたくさん遊びたいです。また、最後の小学校にできることとして学校をきれいにし、1～5年生のお手本となって卒業したいです。

### 「卒業前の残りの時間」 6年

もう小学校生活は少ないけど、残りの時間で勉強や遊びなどを全力で楽しもうと思いました。別の中学校に行く人もいるけど、その人たちも仲よく遊びたいなと思いました。残りの時間、少ないからケガやケンカをせず、残りの時間を楽しみたいと思いました。

6年生は現在、小中連携事業のアプローチレッスンを受けています。これは、中学3年生が波多江小6年生のところに来てくれて、中学校（学習や生活・部活動等）についての説明をしてくれて、6年生の質問に答えてくれる授業です。中学校では、様々な内容や形式が変わっていくことが予想されます。6年生も不安や心配、期待などが入り混じった心境だと思います。波多江小で大切にしてきた力を大切に、先生や友達、先輩等としっかりと相談や話し合いをしながら、自分自身で成長していくこと、社会性をつけていくことが、成長のカギになっていくと考えます。卒業までのわずかな時間の「今」もその大切な成長につながります。6年生の巣立っていく姿を大切に職員で関わっていきたいと考えています。

## 「10歳を祝う会」4年生も節目のイベントを実施しました

4年生も「10歳を祝う会」という節目の行事を行いました。

これは、糸島市の教育イベントの節目にあげられている「二分の一成人式」が「10歳を祝う

会」として変更されたものです。中学校では「立志式」等が行われています。

10年間をふり振り返り、頑張ったことや成長したこと、保護者や様々な方々への感謝の気持ち、これからの夢や抱負を発表し、高学年への目標につなげていきます。

学校には様々な環境や背景、育ち方の子どもたちがいます。その状況に対して、学校は、教員同士、専門機関と連携しながら、子どもたちのすこやかな心身の健康と発達に向けて一緒に努力しているところです。その中で、保護者の理解と協力は、大変重要なものとなります。これからも、一人ひとりの成長と頑張りをあたたかく見守っていただき、子どもにとっての成長や社会性の獲得につながるための連携と協働をよろしく願います。

#### 「10さいを祝う会で、できたこと感じたこと」 4年

ぼくは、「10さいを祝う会」で、はじめの言葉を言いました。練習のときは、うまく言えなかったけど、本番では、うまく言えてよかったです。ほかにもみんな大きな声で言っていたのでいいと思いました。

#### 「10才を祝う会を通して」 4年

わたしは、10才を祝う会を通して、家ぞく（親、姉、弟）におうえんしてもらい、自分のゆめをかなえたいと思った。そして、10才を祝う会では、みんな短い間でもちゃんとできてよかったです。これからも、ゆめ（薬剤師）をかなえるためにべんきょうをがんばりたい。

#### 「10才を祝う会」 4年

ぼくが10才でがんばったことは、お家の人たちの前できれいな歌声で歌ったことです。これからもお家の人へのかんしゃの気持ちをわすれず、なにごとにもど力を続けていきたいです。

#### 「歌声」 4年

自分は、歌をはっきりきれいな声で歌えたのがうれしかったです。ゆめも家族からものすごくほめてもらいました。他の人もえんぎなどががんばっていました。

#### 「10才を祝う会でがんばったこと」

ぼくは、「10才を祝う会」でがんばったことは、歌をきれいに歌えたことと、ゆめの発表を自分なりに声を出したことです。きんちょうしたけど、声を出せたのでよかったです。

卒業や進級を経て、子どもたちは大きく成長していきます。学校や家庭での教師や保護者等の大人の関わりが大変大きいと考えているところです。

「自分の夢を家族からものすごくほめてもらったこと」「がんばって、努力している課程をほめてもらうこと」「お手伝いや家族の中での役割を感謝されること」このようにほめてもらう事や認めてもらう事、勇気づけてもらう事、「あなたを見ているよ」というメッセージが子どもの気持ちを前向きにしていきます。今後も子どもを勇気づける視点を大切に学校・家庭連携を進めていきたいと考えています。

学校でのトラブルや人間関係等の問題は、「必ず学校で解決してお家に帰そう」ということを大切にしています。お子様が、学校での出来事を話してくれた際に、心配なこと等ありましたら、学校まで連絡をいただきますようお願いいたします。「学校でしっかり話し合う」「学校で解決してスッキリする」ことを大切に、対応と指導に努めていきます。御理解・御協力をお願いいたします。

## 大きな太鼓をいただきました！

元波多江校区にあった和太鼓団体「大和なでし鼓」様から、このほど、団体活動終了を機に、波多江小学校にと、太鼓を4台いただきました。

大変立派な太鼓です。

クラブ活動や、運動会の演目との連携等、子どもたちの活躍場面につなげていきたいと思えます。

「大和なでし鼓」様、誠にありがとうございました。

お礼と御紹介をさせていただきます。

